

いじめが起こりやすい・起こっている集団

- 朝いつも誰かの机が曲がっている
- 掲示物が破れていたり落書きがあつたりする
- 特定の子どもに気を遣っている雰囲気がある
- 学級やグループの中で絶えず周りの顔をうかがう子どもがいる
- 自分たちのグループだけでまとまり、他を寄せつけない雰囲気がある
- 授業中、教職員に見えないようにいたづらをする
- (生徒、教員どちらも) 些細なことを注意しない
- 教職員がいないと掃除がきちんとできない
- グループ分けをすると特定の子どもが残る
- 些細なことで冷やかしたりするグループがある

いじめられている子

◎日常の行動・表情の様子

- わざとらしくはしゃいでいる
- 下を向いて視線を合わせようとしない
- 早退や一人で下校することが 増える
- 腹痛など体調不良を訴えて保健室へ行きたがる
- いつもみんなの行動を気にし、目立たないようにしている
- 友だちに悪口を言われても言い返さなかったり、愛想笑いをしたりする
- おどおど、にやにや、にたにたしている
- 顔色が悪く、元気がない
- 遅刻・欠席が多くなる
- とくどき涙ぐんでいる

◎ 授業中・休み時間

- 発言すると友だちから冷やかされる
- 班編成の時に孤立しがちである
- 学習意欲が減退し、忘れ物が増える
- 決められた座席と違う席に座っている
- 一人でいることが多い
- 教室へいつも遅れて入ってくる
- 教職員の近くにいたがる

◎ 昼食時

- 好きな物を他の子どもにあげる
- 食事の量が減ったり、食べなかったりする
- 教室で一人離れて食べている
- 他の子どもの机から机を少し離している
- 食べ物にいたづらされる
- 昼食時になると教室から出て行く

◎ 清掃時

- いつも雑巾がけやごみ捨ての当番になっている
- 一人で離れて掃除をしている

◎ その他

- トイレなどに個人を中傷する落書きが書かれる
- 持ち物が壊されたり、隠されたりする
- 部活動を休むことが多くなり、やめると言い出す
- ボタンがとれたり、ポケットが破れたりしている
- けがの状況と本人が言う理由が一致しない
- 必要以上のお金を持ち、友だちにおごるなどする
- 持ち物や机、ロッカーに落書きをされる
- 理由もなく成績が突然下がる
- 服に靴の跡がついている
- 手や足にすり傷やあざがある

いじめている子

- 多くのストレスを抱えている(学校、家庭)
- あからさまに、教職員の機嫌をとる
- 教職員によって態度を変える
- グループで行動し、他の子どもに指示を出す
- 活発に活動するが他の子どもにきつい言葉をつかう
- 教師が近づくと、集団が黙り込む
- 家や学校で悪者扱いされていると思っている
- 特定の子どもにのみ強い仲間意識をもつ
- 教職員の指導を素直に受け取れない
- 他の子どもに対して威嚇する表情をする
- 発言の中に差別意識が見られる
- 教師が近づくと、集団が分散する

年間指導計画

別紙3

	職員会議等	未然防止に向けた取り組み	早期発見に向けた取り組み
4月	いじめ対応チーム 指導方針・計画作成	入学前の中学校との情報交換	個別面談
		学級づくり	いじめのアンケート① 結果共有会議①
		学校内の交流会	
5月	保護者向け啓発	職員研修会	いじめのアンケート② 結果共有会議②
			心のサポート委員会①
6月	事案発生時	体育大会への団結	いじめのアンケート③ 結果共有会議③
		地域行事参加	授業公開 心のサポート委員会②
		心の講演会	三者面談
7月	いじめ対策委員会	人権学習	個別面談
		ネット犯罪防止講演会	いじめのアンケート④ 結果共有会議④
		地域清掃 カウンセリング研修①	
8月		地域行事参加	
9月	職員会議	海洋スポーツ大会に向けてのクラスの団結	個別面談
			いじめのアンケート⑤ 結果共有会議⑤
			心のサポート委員会③
10月	学年連絡会		いじめのアンケート⑥ 結果共有会議⑥
		幼・小・中・高合同防災避難訓練	
		地域行事参加	心のサポート委員会④
11月		人権学習	授業公開 いじめのアンケート⑦ 結果共有会議⑦
		文化祭に向けてのクラス・部活の団結	心のサポート委員会⑤
		地域清掃	
12月			いじめのアンケート⑧ 結果共有会議⑧
		カウンセリング研修②	三者面談・個別面談

職員会議等

- ・いじめ対応チームは、キャンパスカウンセラーを交え1ヶ月に一度生徒の情報交換、要配慮生徒の観察などについて会議をする。

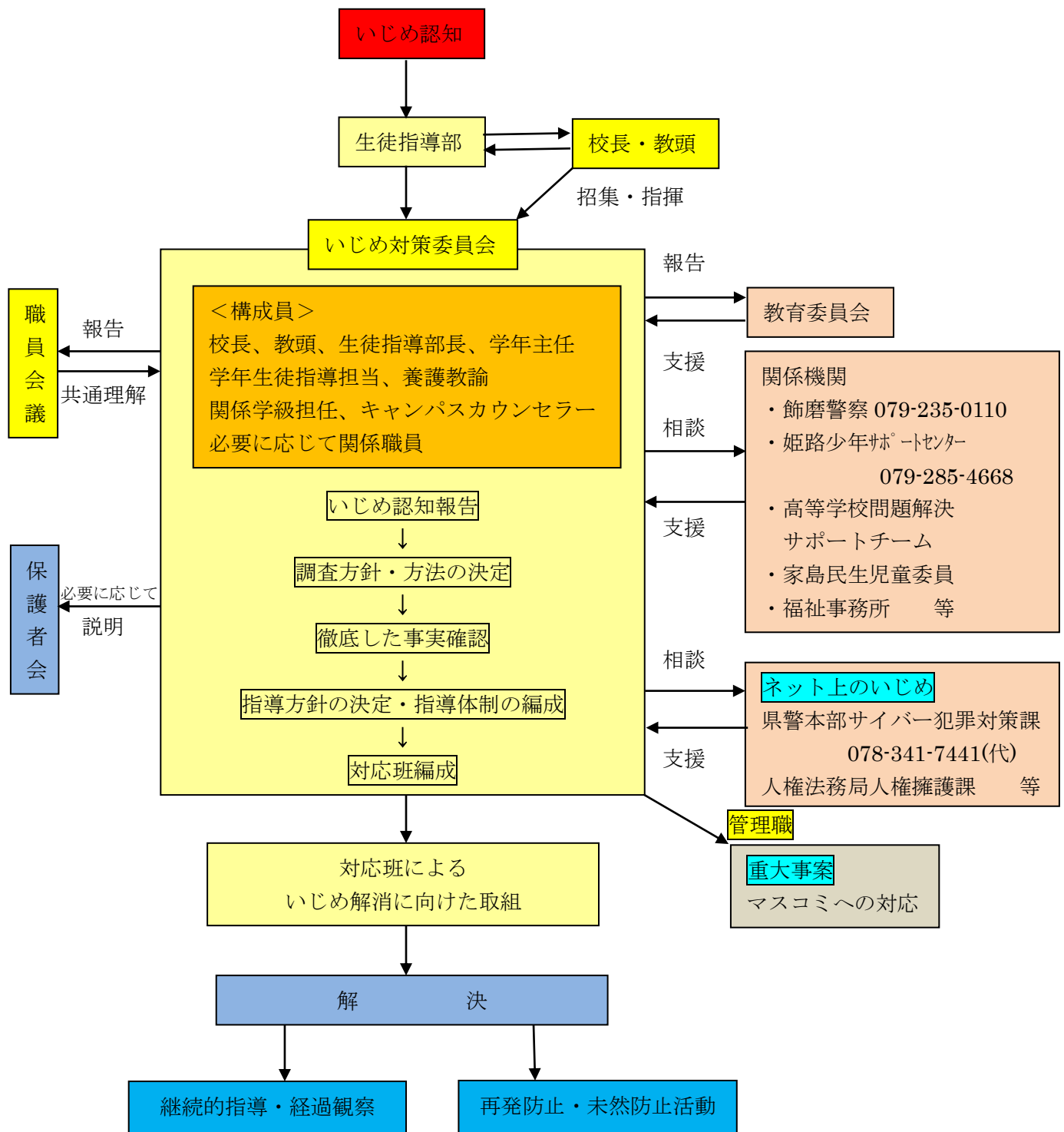
未然防止に向けた取り組み

- ・入学前に中学校との情報交換をする。
- ・いじめを許さない学校づくりを進める。
- ・個別面談を学期終わりに実施する。
- ・面談に際しては、面談用の場所を用意して実施する。(職員室前で実施しない。)
- ・年間を通じて、登校時のあいさつ運動を実施する。
- ・定期的に姫路港7時10分発の高速いえしまにおいて乗船指導を実施する。
- ・定期的に昼休みの巡回指導を実施する。
- ・淡路リーダー研修、東日本大震災ボランティアに参加する。
- ・地元青年団と連携し、伝統無形文化財である家島獅子舞の継承活動に取り組む。
- ・本校の水槽で海水魚を飼育し、生徒たちの感性を磨くとともに心の安定を得る。
- ・地域行事は、さくら広場花祭り、観光釣り大会、坊勢ペーロン大会、家島ウォーク、いえしまマーケットなどボランティアで参加し、社会性の育成およびを図っている。

1 月			いじめのアンケート⑨ 結果共有会議⑨
			心のサポート委員会⑥
2 月			いじめのアンケート⑩ 結果共有会議⑩
3 月		地域行事参加	いじめのアンケート⑪ 結果共有会議⑪
	いじめ対応チーム 本年度のまとめ	地域清掃	心のサポート委員会⑦
			個別面談

早期発見に向けた取り組み

- いじめアンケートは年 11 回実施。
- 個別面談だけではなく、小規模校の利点を生かし、生徒の日常の微妙な変化に対応する。



- 被害者やいじめを知らせてくれた生徒等に十分配慮し、事実確認をする。
 - ・ いじめを発見した時は、ただちに加害者、被害者の双方から事実関係を聞き取り、聞き取った内容については周辺生徒からも状況を聴取する。
 - ・ 必要に応じて、全校あるいは全学年のアンケートを実施する。
- 双方の保護者に説明をする。
- 双方の保護者と関係職員、専門家を交えて、関係改善を行うとともに、傍観者への指導も行う。